

平成21年度

さぬき・東かがわ支部 メディア教育研究部会

1 研究主題

「主体的に学び、生きる力をはぐくむ、
メディア教育のあり方」

2 研究主題のねらい

コンピュータや携帯電話などの情報機器やインターネットなどネット環境の普及により、私たちは、生活をより豊かにすることができるようになった。学校教育においても、これらの環境を適切に活用することにより、より豊かな学びの場を提供することが可能であると思われる。

また、最近では様々なメディアを容易に扱うことができる環境が整いつつあり、それら情報機器の持つ特性を最大限引き出し、学習指導の中で活用すれば、より効果的な学習指導ができると考える。

しかし、それらの機器は日進月歩であり、その特性を知ることは困難である。

そこで、本部会では最新のパソコンソフトウェアについて操作したり、デジタルカメラや放送番組など、身近にある素材から教材を作成したりする実践的な研修会を企画した。

3 研究計画

(1) 第1回研修会(5月1日津田中学校)

- ① 研究主題の決定
- ② 研究組織の決定
- ③ 研究計画の決定
- ア 実技研修会について
- イ 実践発表について
- ウ 校内 LAN 共通仕様について

(2) 第2回研修会

- ① 日時：7月28日9:00～12:00
- ② 場所：志度東中学校
- ③ 内容：実技講習会

(3) 第3回研修会

① 日時：10月22日14:00～16:30

② 場所：e-とぴあ・かがわ

③ 内容：実技講習会及び研究協議会

4 実践内容

(1) 第2回研修会

① テーマ「授業に役立つメディア教材の開発」

② 研修の内容

ア 提案発表(志度東中学校 角也寸志教諭)

放送教材を授業で効果的に活用した実践事例についての提案発表であった。ハードディスクレコーダやDVDなど機器を活用し、NHKの放送番組を中心に、技術・家庭科の授業で取り組みが行われていた。情報モラルについての放送教材の紹介もあり、全教員に参考になる発表であった。

イ 実技講習①

企業による最新デジタル機器の実技講習を行った。デジタルカメラや書画カメラ、プロジェクターなどについて、その特徴と操作方法、学校教育現場での活用事例を紹介していただいた。特にデジタルカメラについては、スーパースロー再生ができる機能が搭載されており、保健体育や理科、部活動などでの活用が期待できそうなものであった。



ウ 実技講習②

(講師 大川中学校 大村和人教諭)

今や学校で日常的に使われているデジタルカメラを使用した動画撮影とその編集作業について、実技研修を行った。特別な機器やソフトウェアを使わなくても動画編集が可能であり、修学旅行など学校行事や教材作成に活用できる。研修会では、実際にデジタルカメラやソフトウェアを操作し、教材づくりを進めながら研修を深めることができた。



(2) 第3回研修会

① 研修テーマ

「Windows-Vista と MS-Office2007 の利用」

② 研修の内容

昨年と同様に、施設や講師の充実した e-とびあ・かがわの研修施設を利用し、最新の OS である「Windows-Vista」と最新のアプリケーションソフトウェアの「MS-Office2007」についての研修を行った。今年は部会員の希望により「PowerPoint2007」を中心に実技研修を行った。基本操作について一通りの研修を受けた後、自由に操作したり質問したりする時間を設け、更に研修を深めることができた。

③ 情報交換(各校メディア教育の取り組み)

各校のメディア教育の取り組みについて情報交換を行った。プロフやブログを利用した生徒の交際範囲の広がりや、掲示板等による個人情報の流出の問題などについて、各校の取り組みや外部講師を招いた啓発活動について情報交換を行った。

また、本年度にパソコン教室や地上デジタル対応テレビの整備が予定されている学校が数校あり、校内 LAN の共通仕様について確認したり、意見交換したりした。

5 反省と今後の課題

(1) 今年度の研修について

① デジタルカメラを用いた動画撮影と映像編集についての実技研修や、企業による情報機器のデモンストレーションでは、最新の機器について、実際に操作を行うことで研修を深めることができた。また、県大会で発表する放送教育について、志度東中の様々な実践報告は大変参考になった。映像機器のデジタル化により、放送教材がより扱いやすくなると考えられる。今後、学校教育での活用が更に期待できると思われる。

② e-とびあ・かがわにおける研修では、OS やプレゼンテーションソフトの実技研修を、講師の指導を受けながら研修した。情報交換では、今年度導入予定のコンピュータやネットワークの仕様についての協議や共通理解を行った。テレビなどの地上デジタル化への移行に伴う機器の入れ替えの動向について、情報交換できたのも意義深かった。

(2) 来年度に向けて

① 本年度、コンピュータやネットワークを更新予定の学校が数校あり、OS も最新版へ移行すると予想される。来年度は最新の機器についての実技研修に取り組んでいきたい。

② 電子黒板についても、本年度導入する学校がある。活用方法については、これまで導入している学校が少ないため、これから研究する必要がある。また、地上デジタル化やそれに伴う映像機器の教育利用の可能性についても、今後研究を進めていく必要がある。

③ インターネットや携帯電話などの情報機器の安全な利用について、生徒や保護者に対する啓発活動は継続して研究することが大切である。今後も各校の取り組みなどの情報交換を行っていきたい。